

令和5年度 筑波技術大学公開講座

まずはここから、聴覚障害学生支援 —見て学ぶ、触って知る情報保障のあれこれ—

2024年2月7日（水）
13:00～16:30

オンライン 開催

大学の責務として聴覚障害学生に適切な合理的配慮の提供を行なうためには、さまざまな合理的配慮の選択肢をまず大学教職員が知っておく必要があります。そこで本講座は、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）の事務局として、大学等における聴覚障害学生支援に関する相談に多数対応してきたスタッフがその経験を生かし、さまざまな情報保障支援について、それぞれの特徴や活用場面を紹介いたします。また、利用者の視点に立った各支援手段の評価や、支援者養成時の指導ポイントにも触れ、合理的配慮の選択・提供において重要な視点についてお話しします。聴覚障害学生支援経験の無い方はもちろん、ある程度の経験をお持ちの方にも、いったん立ち止まって学んでいただける内容です。

実施方法 Zoom（リアルタイム配信のみ。アーカイブ配信なし）

募集人数 50名

受講資格

- ・大学等に勤務する教職員
- ・聴覚特別支援学校等および小中学校
- ・高等学校の難聴学級や通級指導教室で、聴覚障害児童・生徒の自立活動や進路指導に携わる教職員の方
- ・大学の情報保障者養成講座等で指導を担当している方

講習料 3,000円

その他

- ・文字通訳・手話通訳あり。その他必要な配慮は申込時に申請ください。
- ・受講料の振り込み方法などにつきましては、お申し込みされた方にご連絡します。

申込・振込 1月9日（火）～1月31日（水）厳守

https://truowrqhgfna.qualtrics.com/jfe/form/SV_1Zf24Ap9V2z0iTc

講座内容

- 聴覚障害学生への合理的配慮のキホンを振り返る（講師：白澤麻弓）
 - 見て学ぶ、触って知る「情報保障支援」一日頃の支援から立ち止まって考える、導入と養成のポイント（講師：萩原彩子、中島亜紀子、磯田恭子、岡田雄佑、吉田未来）
- ①補聴援助システムによる情報保障
 - ②手書きノートテイク
 - ③パソコンノートテイクによる情報保障（IPTalk、T-TACCaption、captiOnline）
 - ④音声認識技術を活用した情報保障（UDトーク、VEUVOほか）
 - ⑤手話通訳による情報保障

【問い合わせ先】

障害者高等教育研究支援センター 萩原

Tel/Fax 029-858-9438 E-mail [t-tac\(at\)a.tsukuba-tech.ac.jp](mailto:t-tac@at.a.tsukuba-tech.ac.jp)

※(at)は@に置き換えて送信してください。

デザイン原案：石井 菜野葉（筑波技術大学 産業技術学部 総合デザイン学科）



申込フォームは
こちら